

東近江市のまちづくり協議会

平成27年度 各地区の取り組み



まちづくり協議会誕生の経緯

平成17年2月11日 1市4町が合併し、東近江市誕生
 平成18年1月1日 さらに2町が合併し、現在の東近江市の形に



合併により、スケールメリットを活かした効率的な行政運営が可能に



しかし…

各地区の個性や伝統文化が失われるのでは？
 少子高齢化や人口の減少により、十分な行政サービスは困難になっていくのでは？

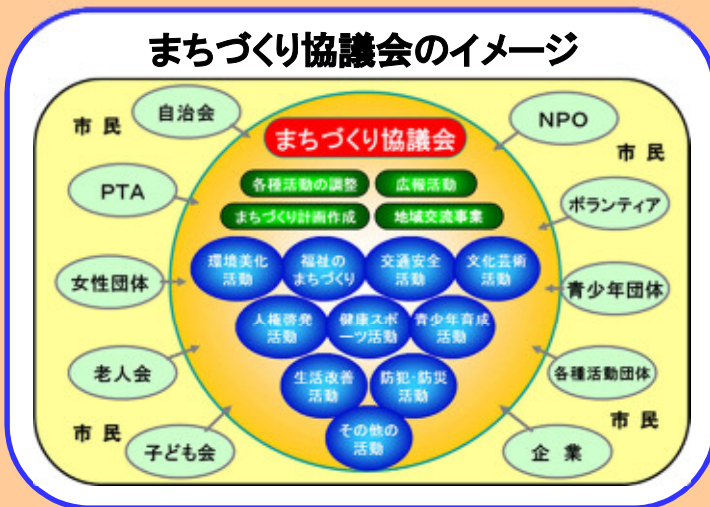
という不安が…



そこで…

市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区それぞれで「**まちづくり協議会**」が組織されました。その活動は、防災・防犯・環境・福祉など多岐に渡り、地域のためという熱い思いにより、ボランティア精神で行われています。

まちづくり協議会のイメージ



まちづくり協議会は、地域を構成する市民やさまざまな活動団体が参加・連携をして、包括的なまちづくりに取り組んでいます。

また、それぞれの地区のまちづくり協議会では、各地域の特色や地域課題に応じて、まちづくり計画を策定し、その計画にもとづいて、まちづくり活動を実施しています。

各まちづくり協議会の活動の一部

分野	事業内容
環境	生ごみ減量化、大型金属資源回収、廃食油回収、里山保全活動、街道整備事業、街路樹植栽管理、市の花ムラサキの栽培、都市公園の指定管理、獣害対策
福祉	命のバトン、婚活支援、子育て支援、冒険遊び場、あったかサロン、配食サービス
安全・安心 (防災・防犯)	防災講演会、防災訓練、かまどベンチ作製及び作製支援、自主防災活動リーダー研修会、防犯パトロール、スクールガード、わんわんパトロール隊、DIG 出前講座
文化・歴史	歴史冊子・マップづくり、歴史看板の設置、歴史探訪ウォーク、地域の歴史を学ぶ講座、地域の暮らしの始まりを心象絵図に描く、蒲生野万葉短歌会
健康・スポーツ	健康料理教室、健康講座、ふれあいウォーキング
交通	ちょこっとバス利用促進事業
教育	学校・園支援ボランティア活動、生涯学習、通学合宿
市民交流	地区イベント、ふれあいコンサート、朝市、縁側カフェ、歌声喫茶

コミュニティセンターの指定管理と協働のまちづくり条例

平成23年1月1日に、平田地区まちづくり協議会による平田コミュニティセンターの指定管理が開始されたのを皮切りに、平成26年4月1日からは14地区すべてのコミュニティセンターで、まちづくり協議会による指定管理が開始されています。

また、平成26年4月には、「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。(裏表紙に条例の抜粋を掲載)



▲ 指定管理運営開始式での鍵の受け渡し

まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	地区内人口 (人)	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	3,191	平成17年12月23日	平成23年1月1日
市辺地区まちづくり協議会	4,324	平成19年2月25日	平成23年10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	4,852	平成18年12月10日	平成24年1月1日
御園地区まちづくり協議会	8,720	平成18年10月21日	平成24年10月1日
建部地区まちづくり協議会	2,996	平成18年2月25日	平成23年10月1日
中野地区まちづくり協議会	7,861	平成18年12月9日	平成24年4月1日
八日市地区まちづくり協議会	6,103	平成18年12月2日	平成24年4月1日
南部地区まちづくり協議会	7,643	平成17年9月19日	平成23年4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	5,641	平成17年9月30日	平成26年4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	11,750	平成18年3月18日	平成25年4月1日
愛東地区まちづくり協議会	4,960	平成17年5月21日	平成24年10月1日
湖東地区まちづくり協議会	8,779	平成17年7月14日	平成24年4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	23,396	平成19年3月10日	平成24年4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	15,163	平成18年11月18日	平成25年4月1日

※人口は、平成27年10月1日現在

※(一社)能登川地区まちづくり協議会は平成25年4月1日に法人化しているため、上記の設立日及び指定管理開始日は、法人化前の能登川地区まちづくり協議会の設立及び開始日。



▲ 広報誌はすべての地区で定期的に発行中

14地区のまちづくり協議会による
▼ 実行委員会主催の婚活講演会




▲ コミュニティセンター以外に、公園などの指定管理を行っている地区もあります

● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 『歴史と水と緑あふれる平田地区、夢を語り未来につなごう!』

【平成27年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン指定管理開始日	平成23年1月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市下羽田町 84-5 平田コミュニティセンター 〈電話番号〉 0748-22-1950 〈IP番号〉 050-8034-1950 〈FAX〉 0748-22-1950 〈e-mail〉 hirata-co@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://hiratayumekaigi.web.fc2.com/main1.html		
代表者	会長 藤田 英夫		
会議・組織	本会役員 会長、副会長*3、会計、事務局長、コミュニティセンター業務主任者、公園管理運営業務主任者、会計監事*2 評議委員会 自治会長*12 運営委員会 本会役員(会計監事除く)、専門部会長、団体会員の長 専門部会等 広報部会、朝市部会、里山再生部会、子育て応援部会、施設管理運営部会、雪野山歴史まつり実行委員会		
予算等の概要	一般会計 202万円 公園管理運営会計 359万円 平田コミュニティセンター管理運営会計 1,265万円		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」 A4版 毎月発行 発行部数 1千部/回 主な内容 活動内容、案内、特集 等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	8月2日(日)、第13回雪野山歴史まつりを開催しました。 今年で10回目となる水鉄砲合戦「世は戦国!雪野山夏の陣」には市内外から23チームが参加し、戦国武将さながらの水鉄砲バトルを繰り広げました。 子どもの部は、今回から武将、姫様の部と同様の対戦形式となりました。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【広報】

平成27年7月号から、まちづくり協議会「ひらた夢回議だより」と、コミュニティセンター「ひらただより」を統合し、平田のみんなの情報紙「ひらたから」を毎月発行しています。

【ひらた夢朝市】

平成18年7月に「夏のやさい市」を開催し、それを毎月1回（平成24年9月から月2回）開催の「ひらた夢朝市」に発展させ、今日まで継続開催しています。また、11月8日（日）に平田地区の農産物・加工食品の展示即売や消費者との交流を深める第3回平田を食べよう朝市大集合を開催しました。



【子育て応援】

0歳～就学前の子どもとその保護者が参加し、親子で一緒に遊び、自由におしゃべりして、交流を深めています。

【施設管理運営】

平成21年4月から、雪野山歴史公園及び華丘山公園の指定管理者として、市民が楽しく活用できる美しい公園管理に努めています。

平成27年10月20日には、まちづくり協議会で作っていた「雪野山休憩所」が完成し、雪野山古墳や雪野山歴史公園を訪れる方に利用してもらっています。



【里山再生】

雪野山歴史公園周辺の里山林や瓶割山城跡に通じる散策路の下草刈りなどを行っています。

● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち 市辺

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづけたい

【平成27年度】

設立日	平成19年2月25日	認定日(当初)	平成19年3月1日
コミセン指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市市辺町 2391 番地 市辺コミュニティセンター内 〈IP 番号・FAX〉 050-5802-3392 〈e-mail〉 ichi-kyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.ichinobe.com/		
代表者	会長 堤 昭廣	会員数	97人
会議・組織	役員会 8人(会長・副会長3・事務局長・コミセン業務主任者・会計・会計監事) 運営委員会 24人(役員・自治連正副会長・各種団体代表・まちづくり委員会) まちづくり委員会78人《広報(6) 自然環境(23) 地域活力(14) 歴史・文化(11) 安全・安心(12) 健康・福祉(7) こども健全育成(5)》		
予算等の概要	本体部門 収入の部 219万円(総合交付金・自己資金) 支出の部 219万円(事務費64万円・会議費1万円・事業費109万円) (負担金35万円・予備費10万円) コミセン部門 指定管理料 1,154万円		
情報紙の発行	まち協広報誌「万葉のまち市辺」第31号・32号・33号・34号を発行 <主な内容> 「各部活動紹介」「ムラサキ栽培」「給食ボランティア」 「いちのべ農園芋収穫祭」「子ども見守り隊」「このまちこの人」 「子ども防災訓練」「万葉フェスタ」「滋賀安全まちづくり大賞」		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理以前からの社会教育・生涯学習事業を継続して実践中。 ○組織運営 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会連合会とまち協会長の一本化、館長とまち協事務局長の一本化等の組織運営で、コミセンを拠点とした地域の一体感が強まってきた。 ○自治会連合会や各種団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・スイートポテト作り教室と子ども安全教室(消防訓練)は地域教育協議会・子ども会との共催、地区実行委員会開催の万葉フェスタにまち協も参画。健康講座は社会福祉協議会・老人会との共催。夏と年末の防犯パトロールにまち協も参画、布施城歴史DVD作成はびわこ学院大学から3名参画。 等々まち協と各種団体や地域の方々との共催事業が活発になってきた。 ○まちづくり委員会の事業活動PR <ul style="list-style-type: none"> ・広報部 広報誌を年4回発行 ・歴史文化部 布施山城と布施の溜池歴史シリーズ、蒲生野万葉短歌会 ・自然環境部 コップ設置、出前講座、いちのべ農園、工場(環境)見学 ・健康福祉部 マクロビオテック料理教室(豆腐作り)、健康講座 ・安全安心部 地区パトロール(夏・年末)参加、普通救命講習(AED) ・地域活力部 ムラサキ栽培、万葉フェスタ ・こども健全育成部 安全教室(消防訓練) 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

<自然環境部>

いちのべ農園



わくわくこらぼ村賞を受賞



<健康福祉部>

豆腐作りに挑戦



<健康福祉部> 健康講座



<歴史文化部>

第三回蒲生野万葉短歌会

全国20都道府県から1662首応募



◀ 審査風景

短歌の表彰式（船岡中学校体育館にて）



<歴史文化部>

布施の溜池

布施山城跡見学・DVD 第3部作成



<地域活力部>

「ムラサキ」船岡山公園で植栽活動

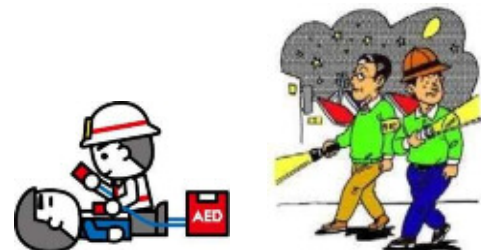


<子ども健全育成部>

子ども会連合会・地域教育協議会と共催で防災教室を開催（2回目）



<安全安心部> 普通救命講習募集、夏と年末の防犯パトロールに参加



● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』

【平成27年度】



設立日	平成18年12月10日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン指定管理開始日	平成24年1月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日(予定)
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市大森町1030番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号〉0748-22-6479 〈IP番号〉050-5801-6479 〈FAX〉0748-22-6479 〈e-mail〉tamaomachi02@gmail.com		
代表者	会長 山田 順一郎	会員数	まちづくり委員 64名
会議・組織	まちづくり協議会 会長(自治連会長)・副会長×2(前年自治連会長・まちづくり委員会代表)・事務局長(コミセン館長兼務)・会計(まちづくり委員会会計) まちづくり委員会(従来までのまちづくり協議会) 代表・副代表×3・事務局長・会計・監査 計7名で役員会構成 運営委員会 役員・専門部会正副部会長・担当委員・コミセン館長 計17名 専門部会 環境保全整備部会・歴史教育部会・健康スポーツ福祉部会・広報部会 まちづくり全体部会 ハートフル玉緒自主防犯隊		
予算等の概要	一般会計 223万円 (交付金 167万1千円 その他 55万9千円) 指定管理会計 1,224万5千円(指定管理料 1,112万1千円 その他)		
情報紙の発行	まちの情報誌「ハートフル玉緒」年3回発行し、その月度はコミセンの「玉緒だより」と合併号。発行部数 1,500部(今年度は31~33号の予定) 玉緒地区の文化・歴史・地域等の紹介、及び「ドクターに聞く」の連載など。		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	まちづくり協議会活動 ①コミセンの指定管理に伴う、管理運営を行う。 ②協議会が主になり各種団体と共に「実行委員会を立ち上げ」夏祭り・運動会・文化祭の企画～運営を行っている。 ③命のバトン運動の展開 各自治会加入全戸に配布し、緊急時の安心へ。 ④「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロールの実施。 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心のために青パトカーによる巡回を実施。 ⑤自治連・各団体が一つになって、まちづくり活動を展開する。 ・玉緒いきいき塾「通学合宿」の開催。地域教育協議会(キッズ)の支援。 ・文化講演会(大森城址の魅力・布引山の遺物発見)の実施。 まちづくり委員会活動 ①環境保全整備部会(里山・桜並木の整備と住民・子供たちのふれあい活動) ②地域歴史教育文化部会(地域文化・史跡の発掘と啓蒙と文化活動の展開) ③健康スポーツ福祉部会(運動不足解消・健康増進に向けて健康講座開催) ④広報部会(地域の情報発信)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

① 第4回夏祭り開催

まち協主体で各種団体と実行委員会を立ち上げ、今年度は会場を玉小グラウンドに移し、200名を超える参加で踊りの輪も広がり、ふれあいの場として定着してきた。



② 命のバトン運動の展開

まち協主体で自治連・社協・民児協と連携し、自治会加入全世帯に「命のバトン」を配布。民生委員が高齢者宅を訪問し、設置状況をフォローしている。



③ 青パト巡回（防犯・防災・交通安全など）
目で訴え・声かけを、隊員140名が交替で月10回区内巡回パトロールを実施している。



④ 第6回 布引山ライトアップ

今年も、玉小・布小卒業生の「未来の夢を描いた行燈を灯そう。」を実施。春の祭りとして盛大になり定着してきた。



⑤ 第6回 里山フェスティバルの開催

夏休み、親子が参加して里山でシーソー・ブランコ遊び、カブト虫の観察や掴みなどを体験し、喜ばれている。



⑥ 玉緒史跡ウォーキング

郷土の寺院・史跡をもっと知ろうと、春と秋に開催。毎回40名以上の参加がある。



⑦ 玉緒小学校の里山体験授業

毎年4年生が里山で木を切ったりまきを割ったり、体験を通して里山の大切さを学習している。



● 御園地区まちづくり協議会

【平成 27 年度】

設立日	平成 18 年 10 月 21 日	認定日 (当初)	平成 18 年 10 月 30 日
コミセン指定管理開始日	平成 24 年 10 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市五智町 351-2 御園コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0503 〈IP 番号〉 050-8034-0503 〈e-mail〉 misono-k@city.higashiomi.shiga.jp (御園コミュニティセンター)		
代表者	会長 澤 伊三雄	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 4 人 (会長、副会長 2 名、事務局長) 運営委員会 33 人 (役員、各自治会会長、各活動部部会長、会計、顧問) 活動部会 <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体を教育文化部、環境整備部、安全安心部、体育部、健康福祉部、地域活動部に振分けて部会を組織している。 ・まち協単独の活動は防犯パトロール隊など 5 活動 		
予算等の概要	一般会計 321 万 9 千円 指定管理会計 1, 218 万 9 千円		
情報紙の発行	【まち協みその】 A4 版 4～8 ページ 毎月発行 発行部数 2.5 千部/回 ・まち協、コミュニティセンター、各種団体の広報紙をひとつにまとめたまちの情報誌を発行 ・主な内容：まち協の活動紹介、各種団体だより (子ども会、老ク連、体協、人権協、青少年育成会、コミュニティセンター)、自治会や団体・人・社協サロンの紹介、まちの話題など		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特に PR できること	<ul style="list-style-type: none"> ・従来から、自治会連合会の事務局をコミュニティセンターにおいておりましたが H24 年よりまちづくり協議会の事務局もコミュニティセンターにおくように改変し、コミュニティセンターを拠点として、まちづくり協議会、自治会連合会、コミュニティセンターの 3 つの組織が一体となり、連携して活動が行なえるようになりました。 ・また、事務局長をコミュニティセンター館長が兼任する体制として事務局機能を強化しています。 ・役員は、会長と副会長 2 名 (当期自治連会会長を兼ねる副会長と各種団体を束ねる活動部会の長の副会長)、コミセン館長を兼ねる事務局長の 4 名で、それぞれが団体を代表する方でもあるので、地域の各種の課題に即断即決でき、タイムリーに対応できています。 ・まちづくり協議会の活動とその進捗は、毎月の自治会連合会の会合で報告し、自治会活動とまち協活動の一体化を図っており、地区住民を巻き込む取組には自治会組織を活用しています。 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

H27 年度活動紹介

1、防犯のまちづくり事業

1-1 防犯ボランティアパトロール



▲地区内を青パトで、2時間ほどの巡回を年間96回実施しています。

1-2 防犯研修会（防犯自治会共催）



▲防犯先進地（大津市真野北学区推進協議会様）を訪問し、防犯活動について研修を受けました。

2、廃棄物削減事業



▲ダンボールコンポスト（生ごみのたい肥化）の普及活動として、講習会を6回、フォローアップ講習会を1回開催しました。

3、獣害対策事業



▲獣害に悩まされている地域に捕獲檻を仕掛け、捕獲する取り組みをしています。

4、地域活性化事業

4-1 地区運動会の開催



▲10月11日 地区運動会開催。1200名の参加者が勝利のために頑張りました。



4-2 地区秋まつりの開催



▲11月8日 地区秋まつり開催。あいにくの雨模様にもかかわらず、3000名が参加し大盛況となりました。

5、教育文化事業

5-1 子どもお泊りチャレンジ

（かき御園チャオグループ）



▲キャンプや災害時にいかなる知恵と技を学びました（ロウソクに代わるものを実験）。

5-2 人権ふれあい講演会



▲11月28日 坂田利夫氏をお迎えし、「坂田利夫の私の人生～人権は大切だヨ～」開催。250名の参加者に来ていただきました。

● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン)『建部に生まれ、育ち、住んで良かったと言われる郷(さと)づくり』

【平成27年度】

設立日	平成18年2月25日	認定日(当初)	平成18年3月2日
コミセン指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日(予定)
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市建部日吉町31番地(建部コミュニティセンター内) 〈電話番号・FAX〉0748-22-0303 〈IP番号〉050-5801-0303 〈e-mail〉tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 小泉 登喜夫		
会議・組織	評議委員会 19名(自治会長) 運営委員会 17名(地域団体代表者、まち協役員) 役員会 11名(会長、副会長×3、事務局長、会計、部会長×4、コミセン館長) 専門部会 4部会(環境美化、歴史文化、健康福祉、広報) 会員の範囲(建部地区に居住する住民で構成) ・個人会員(本会の趣旨に賛同し、参加する個人)62名 ・団体会員(自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体)12団体		
予算等の概要	一般会計158万円(交付金128万2千円、自治会連合会助成金10万円、その他19万8千円) コミュニティセンター管理運営事業会計 1,226万9千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月1回発行(年12回) A4版4~6頁(カラー) 発行部数1,000部/回		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<ol style="list-style-type: none"> まち協役員および推進体制 <ol style="list-style-type: none"> まち協規約を改正。役員は、会長1名、副会長3名、事務局長1名、会計1名、会計監事2名 役員会は以下の11名で構成。 会長1名、副会長3名、事務局長1名、会計1名、コミセン館長1名、専門部会長4名 役員会の活性化 役員会を毎月1回開催。議論を活発にするため、毎回議題を事前に通知し、会議資料を充実させ、議事録を発行。 自治連、各地域団体との連携 <ol style="list-style-type: none"> まち協の副会長に、自治会連合会の会長が就任し、定例の役員会に出席。 12の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議。 まち協の企画・運営について意見を求めるため、自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催。 研修事業の推進 <ol style="list-style-type: none"> まち協会員を対象とした先進地研修を実施(7月2日) 伊賀市島ヶ原地域を訪問し、住民自治によるまちづくりの取組みを学習。 まちづくり講演会の開催(11月26日) 蒲生地区まち協の向井会長をお招きし、まちづくり活動を学んだ。 コミュニティセンターの指定管理の進捗状況 <ol style="list-style-type: none"> 指定管理開始から5年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指して取り組んでいく。 施設の設備改修や環境整備を行い、利便性の向上に努めていく。 コミセンに対する地域住民の意見を募り、今後の運営に反映していく。 		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1. 建部里まつりの開催（6月21日）

緑豊かな建部の里に感謝し、先人の知恵や地元の良さを今後のまちづくりに活かそうと、市制10周年記念協賛事業として、河辺いきもの森で初めて「建部里まつり」を開催しました。参加者は、森の中でのクイズラリーや勉強会、竹の薄切り大会、アルミ缶の風車や竹トンボ・水鉄砲作りなどを楽しみました。また、昔の暮らしを写した写真を展示し、お昼にはかまどの炊き込みご飯や豚汁をおいしくいただきました。



2. 建部幼稚園グラウンドの芝生化

建部のまちづくりにおいては、地域コミュニティの一つである幼稚園と将来の建部を担ってくれる園児を支援することが大事との思いでグラウンドの芝生化に取り組みました。青々と広がった芝生の上を園児たちが伸び伸びと駆け回ったり、寝転んだりしている様子を見て、芝生を植えて良かったとの思いになりました。



3. 環境美化事業への取り組み

- ①既植樹箇所およびポケットパークの草刈、コミセン前庭の剪定作業（6月13日、10月4日）
- ②愛知川左岸堤防のごみ拾い（12月6日）
- ③コミセン周辺の年末清掃（12月21日）



4. 歴史文化事業への取り組み

- ①歴史探訪として湖北の観音めぐり（11月7日）
長患いせず極楽往生に導くコロリ観音として親しまれている赤後寺、日本屈指の美貌を誇る向源寺の国宝十一面観音、木之本地蔵さんにお参りし、木之本宿を散策しました。
- ②歴史講座の開催（2月5日）
中島伸男氏（郷土史家、野々宮神社宮司）に講師をお願いし、建部における狛犬のお話を伺いました。



5. 広報活動への取り組み

建部の良さやまち協およびコミセンの活動を広く知ってもらうため、「建部だより」をコミセンと共同で毎月発行しています。また、建部地域を取り巻く環境や課題について考える記事も掲載しています。

6. まちづくり計画の見直し事業（平成26年4月～28年1月）

建部地区を取り巻く環境の変化に対応するため、また今後のまちづくり活動の方向を明確にするため、住民の皆様からご意見をいただきながら、平成26年4月よりビジョン研究部会が中心となり、まちづくり計画、まち協規約、まち協組織の見直しを行ってきました。



平成27年11月の臨時総会で見直し内容を承認いただき、「まちづくり計画書（改訂版）」を建部地区全戸に配布しました。

7. 建部三大まつりへの参画

実行委員会形式で行われている建部三大まつりに参画し、先導的役割を果たしてきました。

- ①ふるさと夏まつり（8月1日）
・まち協として、タイ焼き、シュウマイのバザーを担当しました。
- ②地区運動会（10月11日）
・2年振りの開催でした。
- ③町民祭（11月1日）
・まち協として、豚汁、タイ焼きのバザーを担当しました。

● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) **なかのよいまち**

(テーマ、スローガン)『みんなでつくる なかの よいまち』

【平成27年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日	平成18年12月14日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日(予定)
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市中野町781番地5(中野コミュニティセンター内) 〈電話番号・FAX〉0748-22-0154 〈IP番号〉050-5802-2311 〈e-mail〉sgk-hs@rmc.ne.jp		
代表者	代表 田中 常雄		
会議・組織	役員 25名(運営委員、監査) 運営委員 23名(代表、副代表、事務局長、会計、幹事) まちづくり委員 43名(自治会選出、公募委員) 総会構成人員 101名(上記まちづくり委員、自治会長、各種団体長) ○まちあるきプロジェクト外 ○歴史探訪プロジェクト外 ○山と川保全推進プロジェクト外 ○50年森整備 ○冒険遊び場 ○棕の木保全 ○広報委員会		
予算等の概要	一般会計 243万円(内交付金181万1千円、自治会補助金3万円) 指定管理会計 1,176万3千円 特別会計 315万3千円(基金会計)		
情報紙の発行	まちの情報紙「中野地区まちづくり協議会 広報紙」A4版4ページ 6月、8月、10月、1月、3月 年5回発行(前年度実績) 今年度は期末にまちづくり協議会冊子(A4版8P)を発行予定 発行部数2,500部/回 <主な内容> 地域に身近でホットなニュース、いま・むかしコーナー、特産品の紹介、サークル紹介、まち協事業、まち協総会報告等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	中野コミュニティセンターの指定管理を受託したことから、自治会連合会との連携を強め、中野地区のまちづくりを進めています。 特に自治会連合会の役員経験者や自治会選出のまちづくり委員の方に、運営委員会のメンバーとして入っていただくことで、より広い視野をもった活動を展開することができています。 中野地区の3大事業として、自治会連合会、各種団体が実行委員会で開催していた、夏まつり、運動会と文化祭に、実行委員としてまち協役員が関わってきましたが、その運営についてより積極的に取り組むべく、企画段階からも参画をしています。また、まちづくり協議会の大きな事業である「50年森整備事業」には、自治会連合会所有の機材等を活用し、一定の成果を内外から受けています。今年度は、その活用をより進めるような取り組みも始まっています。 まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた、毎月7日開催の「円卓会議」は、住民が自由な立場で中野地区のまちづくりを語り合う場として続いてきています。この場で議論になったことを運営委員会に反映して、新規事業に繋がるなど、中野地区の夢を語る場としてより発展させたいと思っています。 一昨年度から始めた「認知症」を知る研修会では多くの住民の方の参加があり、今年度はこれを地域で実践すべく、認知症の方を地域で支える活動を予定。		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介



50年森の整備に加えて、その利用を活動の中心にするためポンプを打ち込み水源の確保。



50年森の整備計画が一定の成果を挙げたことを記念したコンサート。



中野3大事業の一つ、文化祭の前夜祭をまちづくり協議会が開催。



毎年実施している古布団の回収は、地域住民のニーズを捉えた活動として定着。

● 八日市地区まちづくり協議会

【平成 27 年度】

設立日	平成18年12月2日	認定日(当初)	平成18年12月5日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日(予定)
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市八日市町 9-20 (八日市コミュニティセンター内) 〈電話番号〉0748-23-4120 〈IP 番号〉050-8034-1141 〈FAX〉0748-23-4120 〈e-mail〉ykaich-k@city.higashiomis.shiga.jp 〈ホームページ〉八日市冒険遊び場 http://yokaichiplaypark.shiga-saku.net		
代表者	代表 高村 修	会員数	全住民が対象
会議・組織	執行役員会 不定期(代表、副代表2人、常任役員3人、事務局長、会計、コミセン館長) 理事会 不定期(総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部会6人) 広報委員会 年4回(編集委員長1人、委員5人) プロジェクト:八日市冒険遊び場、延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、花いっぱい、いきいきあったかさサロン、子育て支援、八日市つながり、イーストレインボー		
予算等の概要	一般会計 202万円 指定管理会計 1,443万4,863円 特別会計 400万円(八日市地区まちづくり基金)		
情報紙の発行	八日市まち協だより A4版 4ページ 年4回発行 発行部数 2400部/回 主な内容:まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり~この人~、八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告、コミュニティセンターの活動報告、総区(自治会)の事業紹介など紹介		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>八日市地区まちづくり協議会では、今年度新たに子育て支援プロジェクトと八日市つながりプロジェクトを立ち上げ、現在8プロジェクトが活動しています。子育て支援プロジェクトは、従来実行委員会で運営されていましたが、地区内全域の子どもを対象とした子どもサマーフェスティバルやぼっぴのひろばなどの事業は、まち協として支援すべきと判断し、新しくプロジェクトとして位置づけました。八日市つながりプロジェクトは、東近江市地域福祉計画に基づき、福祉を地域住民が身近に感じる事業として地域活動支援補助金の交付を受け展開されていました。今年度は防災をテーマに、地域住民の防災意識を高める取り組みを計画されたことから、まち協のプロジェクトとしての位置づけを明確化しました。</p> <p>八日市まち協では、平成28年4月1日に協働のまちづくり条例に基づく認定を目指し、組織体制の見直しを行ってきました。自治会連合会からはまち協の副代表に就任いただくことで、まち協と自治連の連携を図っています。各種団体については、コミュニティ部会の理事として位置づけることで連携を図っています。協働のまちづくり条例に基づく認定(予定)により、八日市まち協はコミセンとの事務局機能の一元化、地区内広報誌の集約化、若い層の参画、各プロジェクトの位置づけの明確化などの課題に取り組んでまいります。</p>		

● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン)『誰もが笑顔で暮らし活力あふれるまち南部』

【平成27年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日(予定)
事務所連絡先	<所在地> 東近江市沖野2丁目1番34号 <電話番号・FAX> 0748-23-1573 <IP番号> 050-5801-1573 <e-mail> nanbumachikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 小泉 日出利	会員数	72名
会議・組織	役員会 6人(会長、副会長3名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会 12人(役員、専門部部会長)兼務あり 評議委員会 30人(役員、地区内自治会長14名、各種団体長10名) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	一般会計 211万円 指定管理会計 1,226万円 特別会計 261万円(ダンボールコンポスト)		
情報紙の発行	1. まち協会員向けA4両面版「ホットニュース」毎月25日発行 イベント及び事業日程の案内と参加案内の周知。 2. 南部地区内総合広報紙「南部だより」(毎月発行)にトピックス及び実施事業案内を掲載。		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくり条例第18条第2項の規定に基づき、まちづくり協議会認定を得る為、規約の一部改廃を行う。(重点として、評議委員会に各種団体長の参画を追記明文化) ・コミセン指定管理の受託に伴い、管理運営業務。特に土曜日半日開館の継続。 ・地区内4大イベント(南部祭り、納涼夏祭り、運動会、文化祭)協力と参画。 ・安全・安心のまちづくり推進に伴う事業の実施。 シニア層を対象とした講座の開催(3回実施)。避難所運営ノウハウの習得。命のバトン救急情報用紙の更新及び新規導入家庭の掘り起し。毎月2回通学路交差点における交通安全立ち番の継続実施。 ・可燃ごみ減量化と循環型社会づくりを目指す、各種コンポスト事業の強化継続。再資源化可能物コーナーの管理運営継続。 ・休耕田を活用し、野菜栽培収穫を通じて、地域の児童などとのふれあいを深める。南小低学年、南部学童保育所、アミーゴ日本語教室の子ども達を対象とした。 ・小学校長期休み(年3回)期間における学習支援活動への協力。 ・市立八日市南小学校子供森の維持管理。 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



南部地区 春まつり
”6月 南部祭り“



南部地区 夏まつり
”8月 盆おどり“



和服リホーム事業
”粋生サロン“



ダンボールコンポスト普及事業
導入・フォローアップ講座



ふれあい農園事業
3年生サツマイモ収穫



シニアに役立つ講座
3回実施 認知症・介護保険・医療



犬の躰講座
ワンワンパトロール



リサイクル資源回収事業

- 古紙・新聞紙
- 段ボール
- 廃食油
- アルミ缶
- ビン類
- 小物電化
- ペットボトル
- // キャップ
- 白色トレー
- 古着類

● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ“

(テーマ、スローガン) 『里いっぱい 新呼吸 笑顔のまち えいげんじ』

【平成27年度】

設立日	平成17年9月30日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン指定管理開始日	平成26年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内 〈IP 番号・FAX〉 050-5802-9336 〈e-mail〉 e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/</p>		
代表者	会長 田中 進	会員数	79人
会議・組織	<p>役員会(会長、副会長、事務局長、監事) 6人 随時開催 運営委員会(役員、部会長、会長が指名した者) 概ね月1回開催 専門部会 6部会 随時開催</p>		
予算等の概要	<p>◆27年度予算総額 652万9千円 収入内訳 交付金: 323万7千円 受託料: 117万2千円 受入負担金: 38万円 事業収入: 40万円 ほか 支出内訳 まちづくり計画事業推進費: 280万円 まちづくり計画部会活動費: 60万円 受託事業費: 117万2千円 広報費: 10万円 事務局費: 33万円 ほか</p>		
情報紙の発行	<p>e-NET6500 年6回発行 A4/8頁 4頁カラー (まちの話題、まちきょうだより、地域の宝物、自然、わがまち紹介ほか) e-NET6500情報版 毎月発行 A4/4頁 白黒 (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより) ホームページ 随時更新</p>		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>住民自らが考え、行動することにより地域が抱える課題を解決し、地域文化の良さを次代に継承していくと共に、未来を担う子供たちが私たち以上にこの地域を愛してくれるような、そんなまちづくりをめざす。</p> <p>○地域の良さを再認識し、継承していく取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千草街道の整備及びわがまち探訪事業(千草街道を往く、鈴鹿の自然観察) ・きらり! えいげんじ再発見事業 ・もみじ街道の整備 ・大本山永源寺のライトアップ <p>○環境にやさしいまちづくりへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別意識の高揚(エコキャップ、割り箸等の回収) ・大型(金属性)資源回収 <p>○地域の絆を深め地域福祉の推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援事業 ・みんなの夏休み(夏祭り) ・みんなのふるさと祭り <p>地域固有の資源を活用して活動することにより、地域の良さをみんなで共有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成に繋げていく。</p> <p>まち協をより多くの住民が参画し易い組織にする。事業やイベントを企画・運営することについても多くの参画が得られるように見直しを行う。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 平成 26 年 4 月 1 日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン事業とも連携してまちづくりに取り組んでいる。
- 文化の薫る個性あるまちづくりを進めてきたが、さらに磨きをかけ永源寺の魅力を高めるため、関連するイベントの開催、情報発信、コース整備、花いっぱい運動などをブラッシュアップ事業として実施。
- 古くからもみじの名所として知られている永源寺で、さらにもみじのこだわり、もみじを生かしたまちづくりを進める。国道 421 号に沿って石樽トンネルから永源寺までの間を、もみじ街道として景観形成を図る。

活動の紹介

千草街道を往く



きらり！えいげんじ再発見



ゴミゼロ大作戦



みんなの夏休み



大型金属製資源回収中部会場



小浜市視察研修



永源寺ライトアップ



● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

【平成27年度】

設立日	平成18年3月18日	認定日(当初)	平成18年3月23日
指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市五個荘小幡町318 〈電話番号〉0748-48-7303 〈IP番号〉050-5801-7303 〈FAX〉0748-48-6454 〈e-mail〉go-machikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://go-machikyo.jp/index.html		
代表者	会長 八田 英雄	会員数	地区住民
会議・組織	役員会 8人(会長、副会長、顧問、事務局長) 運営委員会 30人(役員、各事業部正副部長、その他) 事業部会 安心・安全部会69人、環境部会27人、 歴史・文化部会41人、地域福祉部会58人、情報誌部会9人 構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体		
予算等の概要	平成27年度予算総額 668万円 収入内訳 交付金 306万4千円 助成金 10万円 委託料 148万1千円 諸収入 99万7千円他 五個荘コミュニティセンター指定管理会計 2,979万4千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月年6回発行 発行部数4千部/1回 〈主な内容〉特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、まち協活動紹介他		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	〈組織運営で工夫をしていること〉 ①活動方針 ・価値ある事業の創出 五個荘地区まちづくり協議会設立10年の節目の年に、不易流行(まちづくりの基本理念と変化への対応)で地方創生へ弾みをつける。 ②行動指針 ・六つの心でまちづくりの励行 共に行動する仲間への忠誠心を持ち、相互信頼とチームワークを大切にする。 ③地方創生に向き合い自ら提案し、実現させる ・歴史と伝統ある わがまち五個荘を東近江市の様々な場面で存在感を発揮し、魅力あるまちづくりを展開する。 ①人口減少に歯止めをかける活動 ②高齢者一人住まいの増加に交流拠点を点在させる活動 ③魅力満載の五個荘てんびんの里づくりに向かって専門家を交えた活動 〈地区で最も重視している取り組み〉 今年度は、災害に耐えられるまちづくりとして、広域での全五個荘総合防災訓練の実施と、ごみの減量化を推進するため、ダンボールコンポストによる生ごみの減量化に取り組んでいる。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

◆活動の紹介

◇安心・安全事業部 総合防災訓練（8月29日） 延べ3,650人が参加

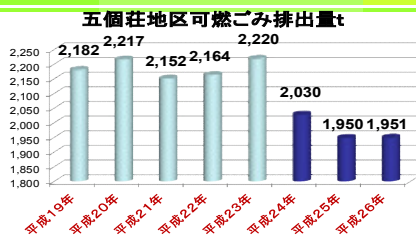


五個荘地区の全自治会と五個荘中学校・小学校が合同で総合防災訓練を行いました

◇環境事業部 ダンボールコンポスト講習

大型金属資源回収（年3回実施）

ダンボールコンポスト生ごみ減量化取り組み



東近江市のごみの処理費用は7億円とも8億円とも言われています。
五個荘地区が生ごみ減量化活動に取り組みを始めてから、可燃ごみは
・24年度は8.6%190トン減量
・25、26年度も12.1%、合計270トン減量
★処理費用も2,350万円減らすことが出来ました！（23年度比）

自治会への出前講習会やコミセンでの講習会を積極的に定期実施しています。
今まで延べ700人の方が受講されました。



◇情報誌事業部

GO!まち協
年6回発行



◇歴史・文化事業部 中山道灯り路（9月26日）



歌声喫茶「ぴーちくパーク」

毎月1回開催
参加者年700人

◇地域福祉事業部

てんびんの里ふれあい広場
（10月24日）



● 愛東地区まちづくり協議会

(愛 称) 愛の田園ネット

(テーマ、スローガン) 「愛東が好き！東近江市はいいところ！」と子供たちが胸張って
 言ってもらえるように、今を生きる私たちが汗をかこう！！

【平成 27 年度】

設立日	平成17年5月21日	認定日(当初)	平成17年7月21日
コミセン指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市下中野町 431 愛東コミュニティセンター 愛の田園ネット事務所 〈電話番号・IP 番号〉050-5802-8614 〈FAX〉0749-46-2270 〈e-mail〉machinet@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://members.e-omi.ne.jp/machinet/		
代表者	会長 中嶋 勝男	会員数	119(個人 88 名、団体 9、自治会代表 22)
会議・組織	役員 10 人(会長、副会長、監事、事務局長、事務局次長、館長、顧問) 運営委員会 16 人(役員、専門部会長等) 評議員会 22 人(自治会長) まちづくり委員 22 人 (専門部会) 広報部、防災部、自治まちづくり部、地域ふれあい活動部、花づくり部、イベントサポートプロジェクト、ちょこっとバスプロジェクト、若者のまちづくりプロジェクト、福祉プロジェクト、愛のまち交流プロジェクト、愛東住みたいプロジェクト		
予算等の概要	一般会計 472万1千円 (内 自治会等からの会費80万9千円、まちづくり交付金282万5千円) 愛東コミュニティセンター管理運営事業会計 2,817万8千円		
情報紙の発行	元気なまちづくり情報誌「愛の田園だより」 A4版8ページ 毎月発行 発行部数1,500部/月 <主な内容> 特集、地域の話題、イベント、コミュニティセンターの情報等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	愛東地区まちづくり協議会では、現在5部会6プロジェクトがそれぞれ特色のある活動をしています。これらの部会等の継続と新たな活動部員の確保が求められてきています。特に、自治会、まち協、行政の三位一体によるまちづくり体制が確立された今、新たな視点に立ち、斬新な発想と工夫によるまちづくりへの取組みを進めます。 ○「愛東を語る会」の開催 まち協が各自治会(住民)等を対象に意見を聞く「語る会」を開催し、住民のニーズを活かせるまちづくりを目指しています。今年度は、春と秋の2回実施しました。 ○「花いっぱい彩りのある町、心安らぐ町」を… 近隣の施設・団体の職員等の協力のもと、愛東支所、コミュニティセンター、診療所前周辺にパンジー・ヴィオラ等を植えるとともにまち協独自開発の水遣り省カプランターを設置しました。また、今年度も地区内の16の自治会への貸出や花好きの住民の協力を得て、上記プランター400個のお世話をしています。 ○「防災県外研修」 自治会長、まちづくり委員等を対象に、京都市市民防災センターにおいて体験学習を開催しました。		



(愛東を語る会)



(あいとう花街道)



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

未来を託す若者に夢とエールを!!

「20歳のつどい」に、祝煙火をプレゼントし、驚き渡る音で地区住民の祝意と励ましを行いました。

みんなで創る情報誌「愛の田園だより」の発行・ホームページの運営

地域の情報を住民の皆さんと共有するために情報誌の発行を行っています。コミセンとコラボし、より新鮮な情報を毎月提供しています。

スマイルネットの告知放送による情報誌の紹介やホームページを更新しています。(広報部)

3大イベント活動の開催

あいとう夏まつり2015

テーマ「元気な あいとうの仲間たち」

7月25日(土) バザー出店数25店 来場者数 約1,000人
バザー、市民によるステージイベント(商工戦隊赤レンジャイ)、
野外ライブ、抽選会を行い、リユース食器によるごみの減量化にも取り組んでいます。



(夏まつり)

あいとう秋まつり2015

10/30~11/3日 あいとう文化まつり(愛東地区文化協会)

11月1日(日) バザー出店数16店 来場者数 約800人
バザー、市民によるステージイベント(愛東中学校吹奏学部の演奏、新米早くい競争)、似顔絵コーナー、野外ライブ、抽選会等
を行い、リユース食器によるごみの減量化にも取り組んでいます。



(秋まつり)

出前サンタとイルミネーション

自治会などで取組まれるクリスマス会に、子どもたちに夢を与えられるよう、今年もまちづくり協議会からサンタを派遣しました。今年度は保育園・幼稚園・集落等11ヶ所から要請がありました。併せて、コミセン前庭に市政10周年のイルミネーションを飾付けました。



イベント等への模擬店の出店

まち協や各種のイベント等への模擬店の出店を中心に活動を行っています。(イベントサポートプロジェクト)

「ちょこバス!」の映画制作と上映

今年度は「ちょこバス!」の映画制作と上映を実施しました。現在ドキュメンタリー映画を制作中です。(若者のまちづくりプロジェクト)



命のバトンの更新

8月10日を「命のバトンの日」と定め、昨年に引き続き、命のバトンを各家庭の冷蔵庫に設置してもらいました。(福祉プロジェクト)

愛のつく町との交流事業

北海道愛別町との交流事業を展開しています。今年度は、「きのこの里フェスティバル」に9月12日から14日まで参加しました。(愛のまち交流プロジェクト)



(命のバトン PR)

空き家の有効活用

増加傾向にある空き家を有効活用(減らす)するため、市に先駆けて空家バンクの立ち上げ等に取り組んでいます。当町への移住者のインタビュー記事を情報誌に掲載して紹介しています。(愛東住みたいプロジェクト)

● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのぼの わくわく あったか湖東時間

【平成 27 年度】

設立日	平成17年7月14日	認定日(当初)	平成17年9月20日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日(予定)
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市池庄町 495 番地 〈電話番号〉 0749-45-0950 〈IP 番号〉 050-5801-0950 〈FAX〉 0749-45-2049 〈e-mail〉 suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.sukisuki-koto.jp/		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内市民が対象
会議・組織	総会、理事会 まちづくり検討委員会、部会運営委員会、指定管理委員会 部会 広報部会、防災コミュニティ部会、みどり・環境部会、あったか湖東時間部会 まちづくり推進員会議		
予算等の概要	一般会計 482万3千円 指定管理会計 2,876万円		
情報紙の発行	まちづくり情報紙『好きやねん湖東』毎月1回発行 コミュニティセンターと共同編集 発行部数 2,700 部/月 A4 版 4 面 〈主な内容〉 表紙には話題となった写真コメント、内容はまち協の活動紹介、話題の人、湖東コミュニティセンター関連記事など		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>◎自治会との連携 理事には、前年度・今年度の自治連会長と、各自治会まちづくり推進員から3名に就任していただいています。まち協に頻りに足を運んでいただく機会を増やすため、自治会長や各種団体の皆さんには、輪転機や大型プリンターを利用していただいています。</p> <p>◎各種団体との連携 各種団体からも3名、まち協の理事に就任していただいています。社会教育団体の事務局をコミュニティセンターが現在受け持っているため、連携は容易であり、団体の活動、事業も広報誌で紹介しています。</p> <p>◎災害に強いまちづくり 各自治会において、自主防災組織の立ち上げも含めて、DIG(災害図上訓練)の出前講座を実施しました。3年間ですべての自治会を回る計画は、折り返し地点を経過しました。各自治会で防災運動会のプロデュースもしています。</p> <p>◎指定管理運営 コミュニティセンターの教室は、年度当初に年間の募集をするため、年度中は単発の教室等の募集を行っています。その中でまち協部会の事業との接点があれば、共通の事業(教室)として募集を行っています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

★ 理事会

- ・ 随時 理事会を開催
- ・ 27年度は、湖東まちづくり協議会をもっと知ってもらうためと、各自治会の問題や課題を聞くために、理事共々自治会訪問を実施しました。

★ 部会運営委員会

各部会活動の報告、情報交換。

★ 広報部会

広報『好きやねん湖東』の取材・編集・発行、ホームページの管理をしています。湖東中学校広報委員との交流、広報協同制作も定着してきました。また、広報誌面による他団体活動応援も継続中です。

★ 防災コミュニティ部会

「湖東地区内全自治会でDIG出前講座を開催!」を目標に3年計画で取り組んでいます。防災運動会のプロデュースやふるさとまつりでの防災〇×クイズの実施など、地域住民一人一人の防災意識向上に取り組んでいます。

★ みどり・環境部会

“農”への関心をもってもらうため、地域の子育てサークルと一緒に菜園で玉葱おこしや、さつまいもおこし、寄せ植え教室をしています。その他にも、グリーンカーテンの推進活動もしています。希望者にグリーンカーテンの苗を提供し、各自宅で取り組んでもらい、『グリーンカーテンフォトコンテスト』を実施しました。

★ あったか湖東時間部会

地区イベント、コトナリエ 2015（実行委員会制）、ふるさとまつり（実行委員会制）の開催や、地域の歴史や文化を次代へ継承するためのテキスト「語りつく ふるさと湖東の歴史と文化」の発行、12月には『おうちにサンタがやってきた』を実施しています。

★ コミュニティセンター運営

湖東コミュニティセンターは、湖東地区の団体や市民が主体となって、これからの湖東地区のまちづくりに取り組むための活動拠点となっています。運営面では、さざんか学習講座の数多くの教室をはじめ、社会教育団体の支援や協力をしながら、地区自治会とも連携を図り、地域の絆を深め住民が集える施設となるよう心掛けています。また、利用者には真心のこもった「あいさつ」や窓口対応の遂行に努めています。

★ まちづくり検討委員会

湖東地区まちづくり計画の見直し。



防災運動会 ジャンボ防災カルタ大会



子育てサークルと寄せ植え教室



『おうちにサンタがやってきた!』



さざんか学習講座 ブラチナ教室

● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよいまち 住みたいまち 住みつづけたいまち』

【平成 27 年度】

設立日	平成19年3月10日	認定日(当初)	平成19年3月13日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市躰光寺町 262 番地 〈IP 番号〉 050-5802-2793 〈FAX〉 0748-42-1556 〈e-mail〉 notomatikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://notomatikyo.com/		
代表者	会長 藤居 正博	会員数	165名
会議・組織			
予算等の概要	一般会計 630万4千円 指定管理会計 5,659万円 予算総額 6,289万4千円		
情報紙の発行	まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」 A4版 8ページ(カラー4、白黒4) 偶数月 年6回発行 発行部数8,500部/回(全戸配布) 会員情報紙「のとまち協NEWS」毎月1日発行(260部)		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年4月1日に、「東近江市協働のまちづくり条例」による、一地区一団体のまちづくり協議会に認定された。 ○ 同年6月の総会において、53地区からなる能登川地区自治会連合会役員13名に理事に就任いただき、自治会との連携が強化された。 ○ 同年11月には、東近江市能登川支所の耐震補強工事と、590席のホールを持つコミュニティセンターの完成に伴い、まち協・コミセンの移転を行い、一体化の第一歩を踏み出した。 ○ 指定管理施設の有効利用や交流を目指す施設運営事業部、市民活動団体との連携を図るための活動団体連絡部を新設した。 ○ 能登川病院の支援に、「病院をよくする会」が活動を行った。 ○ 「フラ輪プロジェクト」と銘打った能登川中学校生徒会の美化活動に協働し、JR駅周辺花壇設置と水遣りの活動を支援した。 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

<写真で綴る活動紹介>

広報事業部

(年6回偶数月に発行し、全戸8500部配布します)



市政懇話会

(11/26 新コミセンホールで開催)



ふれあいフェア

(10/18 ふれあい運動公園で開催 4万人余が来場)



環境事業部

(能登川中学校美化活動フラワープロジェクト支援
JR 能登川駅周辺を花で飾り、毎週の水遣りで維持管理します)



ふるさと散歩道事業部

(伊庭内湖周辺で見られる野鳥の看板設置)



安全・安心事業部

(DIG 研修会の模様
自治会との e 防災マップ作りに研修を重ねました)



2015 ライティングベルと

東近江市能登川支所電飾



健康福祉事業部

(能登川病院をよくする会植栽チーム
病院周辺の維持管理に努めます。患者さんとの対話チームも活動)



指定管理している(新)コミュニティセンター

耐震化された能登川支所と増築された(新)コミセンホールの外観(右)、590名収容の(新)ホール内部(左)



● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【平成 27 年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市市子川原町 461-1 蒲生コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-55-3030 〈IP 番号〉 050-8035-8437 〈e-mail〉 gamomachikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://higashio-me.com/member/gamomachikyo/		
代表者	会長 向井 隆	会員数	(H28.1.1 現在) 15,145 人
会議・組織	総会 115 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 15 (役員、特別委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 29 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) まちづくり計画推進委員会 19 広報企画委員会 6 ふるさと蒲生野川づくり委員会 28 (専門部会) エコランド部会 3 (他にモニター30) ひだまり部会 11 あかね部会 8 ふれあい交流部会 13 万葉ロマンの里づくり委員会 8 地域活性化部会 9 自治会まちづくり委員会 42 (各自治会 1 名選出) 蒲生まちづくり会議 48 (自治連役員、企画会議メンバー、市関係者、 県・市議会議員、商工会、農協、老人ク、社協、コミセン、まち協他)		
予算等の概要	一般会計 920万千円 (内会費210万円、交付金494万3千円、委託金125万2千円) 指定管理会計 コミセン 3, 731万円 古墳公園 176万1千円		
情報紙の発行	1 蒲生まち協の広報紙「がまチョコ」 A4版4ページ(不定期で6ページ) 毎月20日4,800部発行 7月に100号記念号発行 2 FMひがしおうみ(RadioSweet) 81.55MHz にて、毎月第2土曜日 11:00 から(再放送 火曜日9:30 から)蒲生まち協番組「Happy Gamo」 (30分) 放送 〈主な内容〉まち協の情報、自治会のまちづくり紹介、各種団体の活動紹介 等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業等と連携しながら活動を展開している。その上で、 1 まちづくり事業の基本となる当初の『まちづくり計画書』が5年経過し、2030年の蒲生を目指す『蒲生地区まちづくり計画書(改訂版)』を自治会へ配布し、普及推進を図る。 2 地区で最も重要な施設の一つである「蒲生医療センター」が竣工。住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるように医療と福祉が一体となって地域包括ケアを進めていることを医療センターと共に地域住民に啓発。 3 「蒲生スマートインターチェンジ」が平成25年12月22日開通。インターチェンジ周辺の空き市有地の活用について、まち協の「地域活性化部会」を中心として、龍谷大学をはじめ関係諸団体や自治連・行政等と連携して地域活性化のため、見せる(魅せる)農業の実践。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 本部事業

- ・蒲生コミュニティセンターと悠久の丘あかね古墳公園の管理運営を受託
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催
- ・「自治会まちづくり委員会」の開催
- ・「まちづくり計画書（改訂版）」の作成
- ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
- ・あかね夏祭り実行委員会の事務局担当
- ・いきいきあかねフェア実行委員会への参画
- ・大型金属性資源回収事業の実施
- ・「新年互礼会」の開催
- ・各種団体との懇談会開催
- ・視察の受け入れ



【まちづくり会議】



【あかね古墳公園】



【新年互礼会】



【あかね夏祭り】



【大型金属性資源回収】

2 委員会活動

(1) まちづくり計画推進委員会

- ・まちづくり計画進捗管理
- ・「まちづくり計画書（改訂版）」、ポスターを各自治会へ配布

(2) 広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行 100号記念号発行（7月）
- ・FMひがしおうみ蒲生まち協放送番組“HappyGamo”毎月第2土曜日 11:00から30分間放送
- ・各自治会、各種団体と連携し、情報収集



【まちづくりフォーラム】

(3) ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動の取り組み（のぼり、ポスター、チラシ等）
- ・日野川および佐久良川の現状調査の実施
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生の日」（第3土曜日）を定め、美化活動参加と意識向上の啓発



【まちづくり計画書（改訂版）】

3 部会活動

(1) ひだまり部会

- ・「安心、安全のまちづくり事業」 ・講演会、研修会の実施
- ・自主防災組織の作成・マニュアルの作成、配布 ・命のバトン事業

(2) ふれあい交流部会

- ・ふれあいウォーキングの実施 ・健康教室開催・軽運動教室の開催
- ・健診率アップの啓発 ・食育講座の実施 ・地域の拠り所創造事業へ参画
- ・「まち協音頭」を各自治会のサロンに出向き啓発促進



【佐久良川の除草作業】

(3) エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動 ・コンポスト（設置型・ダンボール）の普及
- ・ゴーヤーカーテンの設置 ・市より生ゴミ減量化推進事業の受託



【婚活支援活動（お茶摘み）】

(4) あかね部会

- ・世代間交流事業「あかねGOSHU」企画の継続
- ・縁側カフェの開設（ガリ版伝承館） ・「応援塾」の支援
- ・赤い糸プロジェクト（婚活支援活動） ・「蒲生あかね通学合宿」参画

(5) 万葉ロマンの里づくり部会

- ・「万葉の寺小屋」の出前講座、史跡見学
- ・「ガリ版伝承館」・「野口謙蔵記念館」の特別展などの支援
- ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加
- ・広報誌がまチョコに「がもうのはなし」を連載



【まち協音頭】

(6) 地域活性化部会

- ・先進地視察研修実施（自治連と合同）
- ・蒲生スマートインター周辺の市有地を有効利用（龍谷大学とのコラボ）
- ・「まちづくり計画書」改定に伴う具体化

東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

（まちづくり協議会）

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

(1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。

(2) 地区のすべての市民を対象としていること。

(3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。

(4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

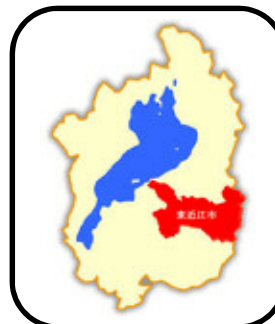
7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

東近江市は、平成17年2月11日に、1市4町（八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町）が合併して誕生しました。その後、平成18年1月1日に、蒲生町および能登川町と合併し、現在の東近江市の形になりました。

東近江市は、滋賀県の南東部に位置し、北は彦根市、愛荘町、多賀町、南は竜王町、日野町、甲賀市、西は近江八幡市と接しており、東は三重県との県境になっています。

地形は東西に細長く、東に鈴鹿山系、西に琵琶湖があり、愛知川が市域の中央を流れています。また、市の南西部には日野川が流れています。この両川の流域には平地や丘陵地が広がり、緑豊かな田園地帯を形成しています。さらに地域内には箕作山や織山などが点在し、豊かな自然に恵まれています。

また、東近江市は、額田王と大海人皇子の相聞歌の舞台となった蒲生野や、永源寺、百済寺、石塔寺など多くの古刹があることで有名です。中世以降は市場町や門前町に連なる交通の要衝の地として栄え、近世には近江商人が活躍し、多くの企業家を生んでいます。このように、東近江市はさまざまな地域との交流を通して、数多くの文化がはぐくまれてきたまちです。



【東近江市概要】

面積 388.37 平方キロメートル

人口 115,379 人

世帯数 42,412 世帯

（平成27年10月1日現在）



発行 平成28年3月

東近江市総務部まちづくり協働課
〒527-8527

滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

TEL 0748-24-1234（代表）

<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>